

2020年
No.112

発行者

社会福祉法人 健康の森学園

発行責任者 施設長 山田浩久

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

HP <http://fukukuenmori.com>

すずらん



平成28年に植樹した哲西栗は、今年とても美味しく実りました!!

『コロナ禍の中で』

施設長 山田浩久

今年度は、新型コロナウイルス禍での感染への不安と、感染症予防に苦慮したスタートとなりました。新型コロナウイルス感染症という、今までに経験したことのない感染症の蔓延により世界中に、また、国内でも毎日のように感染者数が発表されており、老人・障害者等の福祉施設は、感染症予防の対応を求められました。

学園では、恒例の「田植え祭り」「夏の集い」等地域交流事業、保護者会主催の行事を中止させていただきました。また、現在も感染症予防のため利用者の皆様にはマスクを着用していただくなど、新しい生活様式の定着に取り組んでいます。外出や帰宅の制限、保護者来園時の健康状態の確認等、大変なご不便をおかけしておりますが、利用者の安全な生活の確保を第一に予防対策を進めていきたいと思います。

さて、学園周辺では朝夕の冷え込みもはじまり、正面玄関の楷の木も鮮やかな赤色に紅葉し、秋本番を迎えました。各訓練班では、近隣農家や関係機関からの協力をいただきながら、地域の特産品づくりに取り組んでいます。畜産果樹班では、幻の栗「哲西栗」を4年前に植栽し今年本格的な収穫期をむかえました。枝にいつぱい実ったイガが割れ始め、その中から大粒の哲西栗がこぼれ落ちていきます。畜産果樹班の皆様は、イガと格闘しながらたくさんのお栗を収穫し、秋の深まりを感じながら作業活動を頑張っています。

学園では、地域の方々からの御理解と御協力をいただきながら障害者の自立と地域移行をすすめてまいりました。今年度は、開園30年を迎え、これまで御協力いただいた地域の皆様、関係機関に感謝するとともに、さらに地域に根差した学園づくりを進めていきたいと思っています。

もりっぴい便り

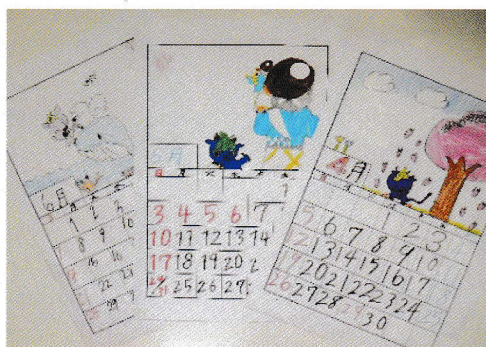
今年度で、もりっぴいは開所して4年目を迎えました。現在、児童発達支援は2歳から6歳までの31名、放課後等デイサービスは小1から中2までの24名が利用されています。ご家族をはじめ、園、保育所、学校、関係機関の方々のご理解とご協力をいただき、引き続き連携を図っています。また、市内の他の児童発達支援事業所と支援内容等について交流研修を年3回実施し、スキルアップを図っています。感染症予防対策のため、今までと違うところに戸惑いながらも、お子さん達は変わらず元気な笑顔で通ってこられています。引き続き皆さんが安心して利用できるよう努めていきたいと思ひます。



『放課後等』

デイサービスの活動

【カレンダーづくり】



学校が休校の期間にカレンダーづくりを行いました。それぞれどの月を担当するか話し合ったり、その月に合ったイラストを考えたりして完成させたカレンダーは、お家に持ち帰っています。また、もりっぴいの入り口にも掲示しており、次の利用の予定をこのカレンダーを見て確認しています。来所された方にも「かわいい。」と好評です。

【お楽しみ会・夏祭り】

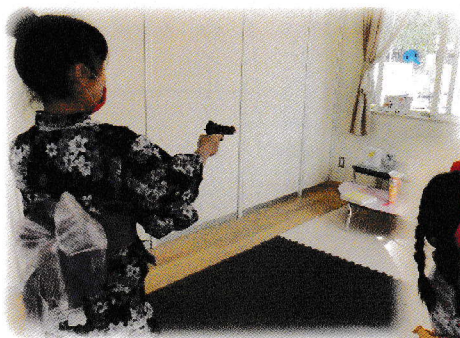
8月にお楽しみ会を開催しました。7月から出し物を決め、準備・練習を行いました。

今回は各自の得意なこと、好きなことをテーマにしました。「鬼滅の刃」を演出付きで歌ったり、得意なバスケットのシュート、好きな妖怪の特徴、ポケモンの図鑑を作成したもの等を発表しました。また、1年前から練習して弾けるようになったギターを披露し、上手でみんなを驚かせるお子さんもあり、頼もしく感じられました。言葉での発表のみでなく、今までの作品や生け花を写真にして、作り方、生け方、感想を掲示して見てもらうなど工夫しました。発表は緊張したようでしたが、みんなから拍手を受け、満足そうな表情でした。いい体験となり、またひとつ自信がつく経験が出来たと思います。



また、今年は地域で夏祭りが中止になっており、毎年している『もりっぴい夏祭り』をみんな楽しみに準備・参加しました。

模擬店の金魚すくい、射的、お菓子釣り、ヨーヨー釣りを、役割をもって係の説明をして、それぞれのコーナーを楽しみました。浴衣を着る機会がなかったところ、もりっぴい夏祭りが浴衣の披露の機会になりました。



新入所生歓迎会 4 / 17

新しい森の仲間3名を迎えての歓迎会を健康の森芝生広場で行いました。在所生の代表から「新しく健康の森学園の仲間になった3名の方としっかり交流してみんなで楽しくいきましよう」と挨拶があり、新入所生より名前と出身、頑張りたいことを含め自己紹介をしていただきました。また、在所生から「どうして健康の森を選びましたか?」「尊敬している人はいますか?」「これからどんなところへ旅行に行きたいですか?」などの質問を受けていました。その後は昼食時間となり、交流の時間を有意義に過ごしました。



救命講習を実施 7 / 28



毎年受講している救急講習を受けました。講師に新見消防署哲多分署の方々をお迎えし、指導を受けました。前半は誤嚥時の対処方法を聞き実際に二人一組で実践し、後半は心肺蘇生法の指導とAEDの使用方法を教えていただきました。何かあった時にはすぐに適切な対応ができるよう今後も緊急時に備えて講習を受け勉強しておきたいと思います。また、終わりに分署長より「最近よく雨が降るので大雨による水害や土砂災害にも十分な対策をしておいてください」と指導がありました。

起震車訓練 9 / 28



避難訓練の一環として起震車体験を実施しました。学園では3年に一度ということで未経験の方もおり、当日はまず、新見消防署の消防士さんから、地震の時の注意点等の説明がありました。その後、震度7・5の揺れを体感しました。乗車する前は不安そうな顔でしたが、揺れが始まると速やかに机の下へ避難し頭を守り、両手で机の脚を持つという事を最初の説明どおり実践できていて「地震を察知し、さっと机の下へ潜れています」とお褒めの言葉をいただきました。今日のことをしっかり生かし、今後も訓練を重ねて地震が起きた場合に備えられたいと思います。

利用者研修会 9 / 29

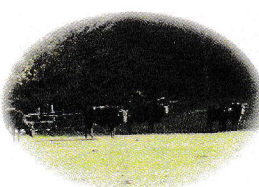


上田建築工房代表取締役の上田浩一さんを講師にお招きし、「はたらくこと」をテーマにご講演いただきました。一般就労を目指す利用者の皆さんや、日々作業に取り組む皆さんに、社会に出る前のヒントや働くことを通じて得られることについて話が進められました。「辛い仕事の中でも、楽しみを見つける努力の大切さ」や「周りの人たちの喜びが自分の喜びにつながる働き方を皆さんにも味わってほしい」など、ご自身のエピソードや歴史上の人物の言葉を交えて丁寧に話していただきました。質問コーナーでは、「仕事の中で苦しいときはどう乗り越えますか?」「どんな時に喜びを感じますか?」といった声がありました。

チャレンジ体験

10/3

健康の森学園に対する理解を深めてもらおうと計画し、今回が初めての開催となりました。県内の支援学校の生徒・保護者・教職員の皆さん約20人の参加があり、新型感染症対策をしながらの活動となりましたが、参加していただいた皆さんは楽しく過ごされていました。最初に山田施設長が健康の森学園の概要と法人が運営している各福祉サービス事業の説明を行い、園内の各作業班（自立訓練事業・就労継続支援B型事業）の見学をして、最後に農産班（就労移行支援事業）の畑でサツマイモ掘りの体験をしていただきました。新型感染症拡大防止のため、今回は午前中のみ活動となりましたが、今後も引き続き体験活動を実施し健康の森学園の活動の様子を皆さんに知っていただこうと思っています。参加いただきました皆さんありがとうございました。

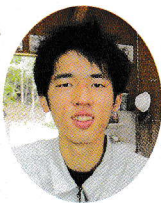


新入所生の声



堀井翔太さん

鶏の餌やりに卵磨き、そして砂充填作業を担当しています。鶏舎掃除や肥料の運搬をしているときが辛くても楽しいです。朝起きるのが辛いときもあるけど、学園のご飯を美味しく食べて頑張っています。



高岡正弘さん

栗拾い、栗の皮むき作業を担当しています。収穫祭に向けて、日々の作業に真剣に取り組んでいます。小学校からの夢である調理の仕事に就けるよう頑張っています。



家元敦也さん

和牛の堆肥運搬、砂充填、採卵作業を担当しています。繰り返し作業が大変ですが、牛舎や鶏舎の掃除をして、きれいになるととても気持ちいいです。

サービス向上委員会より

令和元年度 苦情受付状況

◎職員に対するもの………3件

注意の仕方や言葉遣いなど

◎他の利用者に対するもの……3件

持ち物の無断利用など

※6件の受付があり、それぞれ話し合って解決できました。

編集後記

令和2年度も上半期を終えましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、学園でも田植え祭りや収穫祭など地域の方々を招いて行う行事が影響を受けています。楽しみにしていたイベントや外出が少なくなり、寂しい思いをされているかと思いますが、利用者の皆さんが元気に日々の生活・作業に取り組めるよう職員一同引き続き気を引き締めていきたいと思っています。



ホームページアドレス
<http://fukukenmori.com>